



学校だより

横浜市立大鳥小学校

令和元年6月3日 発行

6月号

# おおとり

【大鳥小学校Webページ】

大鳥小

検索

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ohtori/>

学校教育目標

〒231-0806 中区本牧町1-251

学校長 水島 貴志 TEL 621-7700

はばたく子

◆やさしい子

◆たくましい子

◆かしこい子

## BSFに見えた大鳥小らしさ

校長 水島 貴志

この4月に校長として大鳥小学校に赴任して以来、学校のイベントでまず一番楽しみにしていたのは、何を隠そうBSF (New Big Sports Festival) でした。もちろんそれは私だけでなく、今年着任した教職員のほとんどは同じ思いだったことでしょう。他校にいても、「大鳥小の運動会 (BSF) は、すごいらしよ。」といった声が聞こえてきましたし、何よりも大鳥小に何年か勤務している教職員、あるいは過去に勤務したことがある教職員が、口をそろえてBSFのすばらしさを誇らしげに語る場面を何度も見聞きしてきたからです。

そして今回、大鳥小の職員の一員として、BSFの本番を、いや当日に至る過程も含めて、初めて経験した感想を書きたいと思います。開会式や閉会式で述べた挨拶と重なるところがあるかもしれませんが、ご容赦ください。

まずは、盛り上がりがすごい。特に、応援。声をからしながらも頑張っているのが、応援団に限らずすべての子どもたち、そして得点種目に限らず、すべての競技で応援がある、というところが大鳥小らしいと思いました。なぜこんなに本気になって応援できるのでしょうか。クラスが一つの色でまとまっている (2年生だけはクラス内3色で取り組んでもらいましたが・・・) ため、いつでも「一丸」になれるし、その期間が長かったこともあるでしょう。リーダーの6年生にいたっては、4月からというよりも、5年生だった昨年度のBSFで6年生から思いを引き継いだその時から、足掛け1年になるのですから。さらに、はちまき授与式、団結式、といった大鳥小の伝統ともいべきイベントが節目節目にあり、子どもたちのモチベーションが持続できる仕掛けがあるところも、その要因でしょう。何よりも「子どもたちの思い」を大切にしている本校の特色と言えると思います。



閉会式での思いの引継ぎ。1年後のBSFへ。

そして、交流種目がたくさんある。2学年合同種目や全校競技ならばこの学校でもよく見えますが、色別のたてわりダンスというのは初めて見ました。6年生が考えるのも大変だと思いますが、それを子どもたちが中心になって他学年に伝えていくのも、骨が折れる活動だったことでしょう。それでもどの色も見事にやり抜き、本番ではみんなで動きをそろえて素敵なダンスを披露してくれました。そして何よりも、踊っているときの子どもたちの表情がみんな笑顔で、本当にたてわりの仲の良さを感じました。さらに、交流するのは校内にとどまりません。保護者の方々、地域の方々、未就学児のみなさん・・・。ふれあい種目で、あるいはレインボーダンスのアンコールで、たくさんの方々に参加していただき、子どもたちもとてもうれしそうでした。人とのつながりを楽しみ、大切にしているところも本校の特色と言えましょう。

このように、“大鳥小らしさ”が随所にみられるBSFを無事に開催することができたのも、暑い中応援してくださった保護者・地域・来賓の皆様、前日までの準備や当日の運営に力を貸してくださったPTA役員・委員の皆様、保護者ボランティア、中学生ボランティアのみなさんのおかげとっております。本当にありがとうございました。そして、一番頑張ったのは、主役の子どもたち。最後まで力を出し切り、輝く姿を見せてくれて、ありがとう。その“一丸”の姿を、これからもいろいろな機会に見せてほしいと思います。